

CEFR-J レベル

B1.1

技能

Spoken Interaction

Can Do descriptor

個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を多様に用いて、社交的な会話を続けることができる。

⇒個人的に関心のある具体的なトピック（日本と留学生の国の文化）について、簡単な英語を多様に用いて、社交的な会話を続けることができる。

タスク：

内容：留学生からの質問に答えながら、日本の文化について説明し、留学生の国の文化について尋ねる。

形態：先生との面接形式とする。

手順

① 指示：「このカードを読んでください。読み終わったら顔を上げてください。」

② カード：

あなたは留学生との交流パーティに参加しており、ある留学生に話しかけられました。先生はその留学生です。留学生は日本の文化にとっても興味があり、いくつか質問をします。その留学生の国の文化についても尋ね、感想を述べ、二人で会話をしてください。

話す内容：①日本の文化の詳細、②留学生の国の文化に対するコメント

カードを読み終わったら顔を上げてください。

③ 会話開始。ストップウォッチで3分測る。

④ 3分以内に、日本の文化と相手の国の文化についてのコメントや意見の2点について話すことを目標とする。

⑤ 生徒が黙ってしまった時には、直前に言ったのと同じ言葉をゆっくり繰り返したり、それを言い換えたりして発話を引き出そうとしてみる。それを1回試みて発話が出ないときには次に行く。このレベルでは、生徒の発話が自発的に出てくるかを確かめるために、教員は次の発話をする前に最低5秒は待つ。

⑥ 理解を妨げるような誤った発話の時には、意味を確認する。それ以外の時には話を合わせて次に行く。

⑦ 話の途中でも、3分後に会話をストップする。そこまでの発話で評価する。

(アウトプット) テキスト1：このCEFR-Jレベルで合格の会話

教員: Hi, Nice to meet you. My name is Min Chen.

生徒: Nice to meet you. I'm Takao Ooizumi.

教員: I'm interested in learning about Japanese culture. Could you tell me about interesting Japanese culture?

生徒: Oh, how about sumo? Sumo wrestling is exciting to see. Two sumo wrestlers fight each other. When one of them touches the floor by hand or is pushed outside, the other wrestler wins. When they become strong, they get a high status such as Yokozuna or sumo champions.

教員: Sounds interesting. How can I see sumo?

生徒: You can watch it on TV or go to a sumo competition venue. I'd recommend going to the venue. It's exciting to see sumo wrestlers directly. (日本文化の詳細な説明 OK)

教員: Wow. I will check out sumo later.

生徒: What about your culture? Where are you from?

教員: I'm from China. There is a lot of interesting culture in China. For example, we had the Mid-Autumn Festival last month. It was to celebrate viewing the moon. We also ate mooncakes.

生徒: I saw many people on TV waiting to buy delicious mooncakes in a long line. We also have a holiday for appreciating the beautiful moon in autumn. We believe that there is a rabbit making rice cakes on the moon. (相手国の文化についてのコメント OK)

教員: When you have a chance, come to China. ... Thank you. This is the end of the task.

(2分で2点について、十分にかつスムーズに説明できているため、評点 3)

(アウトプット) テキスト 2: 途中で沈黙など問題がある場合

教員: Hi, Nice to meet you. My name is Min Chen.

生徒: Nice to meet you. I'm Takao Ooizumi.

教員: I'm interested in learning about Japanese culture. Could you tell me about interesting Japanese culture?

生徒: Yes. ... (10秒沈黙) What anime do you like?

教員: I like Detective Conan. What anime do you like?

生徒: I like Crayon Shinchan.

教員: I don't know much about it. Could you tell me about it?

生徒: Shinchan is a main character. He is a boy. ... (10秒沈黙) (日本文化の説明不十分)

教員: Nice. Oh, I will try to find it. By the way, I'm from China. ...

生徒: I don't know much about Chinese culture.

教員: There is a lot of interesting culture in China. For example, we had the Mid-Autumn Festival last month. It was to celebrate viewing the moon. We also ate mooncakes.

生徒: I see. ... (10秒沈黙) (相手国の文化の質問、コメント不十分)

教員: Why don't you come to China some day? Thank you. This is the end of the task.

(2点をどちらも十分に説明できていないため、評点 1。1点のみを十分に説明した場合も評点 1)

開発段階

第1期(作成) 第1期(実施) 第1期(分析)

第2期(改訂) 第2期(実施) 第2期(分析)

メモ

注意点:

- ・生徒がどこまで話せるかを知るために、教員は手助けをしすぎないようにする。
- ・基本的には、2分で終わる。
- ・日本文化についてうまく話せなかった場合、Is there anything else? Is there any other interesting Japanese culture? などトピックを変えて、もう一度試す。その場合は、3分になっても良い。

評価の目安:

- ・日本文化と相手国の文化の2点について、理解可能な4文以上の文で2分以内に説明・質問できれば、評点 2。
- ・詳細が十分あり、しかも流暢さが自然なら、評点 3。また、詳細さや流暢さ、正確さが高かったり、複文等

の複雑な文構造やつなぎ言葉が多く見られたり、会話をリードしたり等のプラスの要素が2つ以上、一貫して見られる場合には、評点3

・中国の the Mid-Autumn Festival (中秋節)、ブラジルの Carnival、など、教員は外国の文化で学生がコメントしやすいものを1つ、短時間でわかりやすく説明できるよう準備する。

Carnival の例

I'm from Rio de Janeiro, Brazil. We have a great festival. It is called a carnival. Once a year (early spring), we wear beautiful clothes in vivid colors and dance samba for four days. There are lots of parades all over Brazil. It was originally related to Catholic, but now it is an exciting event for us.

補足情報 (質問された時用)

観光客が参加するのは、ツアーに申し込む (ただ行って参加できるわけではないらしい)

世界各地で「カーニバル (謝肉祭)」は行われるが、日本人がイメージするリオのカーニバル的なものは、リオデジャネイロ、サンパウロに限られるようだ。

イースターの40日前の4～6日間で行われる。

夜中から始まる。

開発担当者：小泉利恵 (原案：東京外国語大学 吉田充希さん)